

クラブ会長スローガン「行動するロータリアンとしての充実感を共有しよう」

第2のスローガン「Most brilliant Rotary 最高に輝く(素敵な・賢い)ロータリー活動」

方針「目標に向かい行動するロータリアンを目指そう!」

Rotary
Club of Nagoya Meieki

国際ロータリーのテーマ

世界に希望を生み出そう

2023-24 年度 R.I. 会長
ゴードン R. マッキナリー名古屋名駅ロータリークラブ
承認: 1991年4月17日
例会日: 水曜日 12:30~
例会場: 名鉄グランドホテル会 長: 両角 國男
副 会 長: 盛田 兼由
幹 事: 森 美穂
クラブ会報: 森畑 明

●名古屋名駅ロータリークラブ 事務局: TEL.052-433-8160 FAX.052-433-8161 E-mail: meiekirc@f5.dion.ne.jp http://www.nagoya-meiekirc.com

第1485回例会
(グランコート名古屋)西名古屋分区 IM (インターシティミーティング)
「グローバルイズムは世界に何をもたらしたか」2024年2月14日(水)
(令和6年) 晴 No.24

□出席報告

会員数81名(免除者15(12+3)名)

義務者出席57名 免除者出席5名 総数62名

出席率87.32% 1月31日修正出席率92.21%

第1部 式典

□司会 神野重行さん

□点鐘 藤井圓隆
ガバナー補佐□ロータリーソング斉唱
清水順二ソングリーダー
「国歌」「奉仕の理想」

□開会のあいさつ

藤井圓隆ガバナー補佐



まずは今般の能登半島地震の被災者の方々に心からお見舞いを申し上げます。後程この会より義援金を拠出する予定です。

さて、本日は西名古屋分区IMに大勢の方にご参加頂き、誠にありがとうございます。特に酒

井ガバナーはじめ特別出席者の皆様、大変お忙しい中誠にありがとうございます。また、本日ホスト役の名古屋名駅RCのIM実行委員会の委員、各メンバーの方々、長期間にわたる周到なご準備に心から敬意を表します。また、本IMは神野パストガバナーに司会進行役を務めて頂きます。前代未聞のことで、心より感謝申し上げます。

IMは近隣のロータリークラブのメンバーが相集い研鑽し、親睦を深める最上の機会です。酒井ガバナーが仰っているように、ロータリアンのプライド、ロータリーブランドを高め、未来へ続くために、

IMは最重要の会合であると思っております。

今回は基調講演として元産業再生機構COOの富山和彦さんをお迎えし、「日本経済再興」と銘打ちお話を頂きます。そもそもグローバルイズムは世界は1つという地球国家論から始まり、驚くべきスピードで世界を席卷して世界経済に多大な影響を及ぼしました。一方、その反動ともいべき国家主義、大国主義、孤立主義を生み出し、混沌とした世界を現出しています。もともとローカルな団体だったロータリーの未来や各クラブの活動を考える上で大きな関心事です。本日はあくまで一般経済の話ですが、ロータリーにも非常に参考になると思います。

また、第2部の懇親会では、今NHKの朝ドラで話題のOSK日本歌劇団の皆様にご出演頂きます。

どうか皆様、最後までご参加頂き、このIMを盛り上げて頂きたいと存じます。

□特別出席者の紹介

筧 正紀 分区幹事

2760地区 ガバナー 酒井法丈さん

2760地区 地区幹事 杉浦敏夫さん

西名古屋分区担当 地区副幹事 市川善英さん

西名古屋分区担当 地区スタッフ 下地正孝さん

2760地区 パストガバナー 片山主水さん

2760地区 パストガバナー 竈橋美久さん

2760地区 ガバナーエレクト 吉川公章さん

次年度西名古屋分区 ガバナー補佐 藤田守彦さん

次年度ホストクラブ 名古屋丸の内RC

会長エレクト 加藤 豊さん

2月は平和構築と紛争予防月間です

< 例会開催予定 >

◇第1486回 2月28日(水) 通常例会(洋食)
名古屋守山RC創立60周年記念公演のご案内
【例会後】第8回理事会

2月21日(水) 休会 クラブ休日/定款第7条第1節(d)(1) 2/23祝日分

◇第1487回 3月6日(水) 通常例会
誕生日・結婚記念日祝福 「ロータリーの友」紹介
職業奉仕顕彰
愛知県警察本部地域部鉄道警察隊長 浅岡俊一隊長
名古屋市消防局中村消防署 佐藤圭治署長 他

□出席クラブの紹介(※は全員登録) 司会 神野重行さん
小笠原剛会長以下、名古屋RCの皆さん
服部 徹会長以下、名古屋西RCの皆さん
藤田彰男会長以下、名古屋南RCの皆さん ※
柳澤講次会長以下、名古屋みなとRCの皆さん ※
松原邦夫会長以下、名古屋東南RCの皆さん ※
杉浦康晴会長以下、名古屋中RCの皆さん
千秋季頼会長以下、名古屋瑞穂RCの皆さん
丹下富博会長以下、名古屋大須RCの皆さん ※
荒川和生会長以下、名古屋栄RCの皆さん
江松央統会長以下、名古屋名南RCの皆さん
松尾雄二郎会長以下、名古屋丸の内RCの皆さん ※
高橋一吉会長以下、中部名古屋みらいRCの皆さん
出口 茂会長以下、名古屋宮の杜RCの皆さん ※
両角國男会長以下名古屋名駅RCと米山奨学生 バ
トサイハン・ボダシャルガル(ジェシー)さん

□ガバナーあいさつ 酒井法丈ガバナー



本日は西名古屋区分1150人の会員のうち700人強の方にご登録頂きIMを開催できることを非常にありがたく存じます。開催にあたって名古屋名駅RCが非常に努力をされたこと伺っております。藤井ガバナー補佐の指導

力の賜物と感服しております。

さて、IMは何のためにするのか私なりの考えをご説明します。ロータリーは波紋のような組織です。1つ石ころを投げれば波紋がどんどん広がっていきます。波紋の中心にいるのは我々会員1人ひとりです。その小さな波紋がクラブに広がり、分区に広がり、地区に広がり、世界に広がります。IMでは普段関わりの薄かった会員と関わりが持て、それがまた波紋を呼びます。常にロータリーの活動はその波紋の延長線上にあるように感じてなりません。

我々1人では何もできません。皆さん方が力を合わせて、その上で奉仕など色々なことを考えることができると感じております。是非とも皆さん方、このIMで良い出会いをして頂きたいと思います。

本日のIMのテーマは「グローバルizmは世界に何をもたらしたか」です。今ロータリーや我々を取り巻く環境も非常に大きなうねり、波の中にいます。それを変化とロータリーでは呼んでいます。グローバルizmも変化です。その変化をどうとらえ、どう活かしていくかが、今後の我々に欠かせない1つのピースだと思っています。

我々昭和世代で育った人間はなかなか変化が受け入れられない部分も多くあると思いますが、ロータリーも変わらなければなりません。皆さんたちも変わらなければなりません。そうした中で藤井ガバナー補佐が掲げた「グローバルizm」は、時流をとらえた非常にタイムリーなテーマだと感じました。

是非とも西名古屋区分が益々隆盛に活動し、それぞれのクラブの皆さんがロータリーに対して思いを込めて活動頂くことをご期待申し上げます。

本日はお招き頂きありがとうございました。

基調講演

◇講師紹介

藤井圓隆ガバナー補佐

富山先生は1960年生まれ。ボストンコンサルティンググループなどを経て、2003年産業再生機構COOに就任し多くの企業を再生。現在、株式会社経営共創基盤IGPIグループ会長、株式会社日本共創プラットフォーム(JPIX)代表取締役社長。また、パナソニックホールディングス等の社外取締役の他、政府関連委員等多数の公職を務められています。



「日本経済再興 ～GとLの経済再生戦略～」

富山和彦様

今回IMにお招き頂きありがとうございます。

今日のIMのテーマであるグローバルizmがもたらしたものは2つの側面があり、良い面はお金がいよいよ勢いで動き、最近のように株価が急上昇することもあります。悪い面は、遠くで起きたイベントが先程の波紋の話のように伝播してしまうことです。リーマンショックももともとはアメリカの田舎で起きた住宅ローンのバブルです。グローバルizmがなければ、海の向こうの遠い出来事で終わった話です。

今は大きな変局点にあり、特に深刻なのは人口減少です。人手が足りない状況になり、典型的には介護、医療、物流、観光は厳しい人手不足になっています。そこで今話題になっているのが、ライドシェア、遠隔医療などです。どの産業もとにかく人手が足りないの、規制改革の話の中でも、限られた人数でどうこなすかということが論点になっております。

そうすると、付加価値労働生産性を上げていかないと持ちません。付加価値労働生産性とは生産性の代表的な指標で、付加価値(粗利)を労働投入量(労働時間)で割ったものです。

人が少なくなるから分母が減ります。ということとは、付加価値労働生産性を上げるには、利幅の取れる仕事以外は取らない、単価の低い仕事は断れ、ということです。値段は本当に大事です。粗利幅が大きいということはそれだけ尊い仕事、世のため人のためになる仕事をしているということです。だからそれは誇りを持つべきなんですね。当然、撤退すべきものは撤退することになります。儲からないことをやめるのが一番確実な方法です。

それから効率を上げる、分母の生産性を上げることです。最近では驚くほどデジタルツールが安く使いやすくなっています。AIも出てきました。それによってホワイトカラーは逆に人が余っていて、大企業のホワイトカラーやITコンサルは今リストラをやっております。人手が足りなくなっているのは非ホワイトカラーです。先程申し上げた介護、医療、物流、観光などがそうです。

変局点にある今、ガバナーの話にあったように、変化の中でどう自分が変わっていけるかが勝負です。一生懸命自己変容する、コーポレートトランス

フォーメーション(CX)をすることです。

日本企業で最も成功した例は富士フィルムです。もともと銀塩フィルムの2番手の会社でしたが、結果的になくなったのは圧倒的な世界チャンピオンだったコダックです。富士フィルムは医療関係の映像の会社になって生き残りしました。

富士フィルムは銀塩フィルムには未来がないと考え、銀塩フィルムへの投資をやめ、徹底的に新しい領域に投資していった訳です。自分の持つ強み、要素技術がどこに展開できるかを考え、ものすごい勢いで事業ポートフォリオを入れ替えました。結局それは経営者の技量、力量が問われるということです。

デジタル革命によってGAFAの天下になりました。しかし、皆がGAFAに滅ぼされた訳ではありませんし、皆がGAFAになる必要はありません。

日本の企業体の強さは、私は本質的には現場力だと思っています。現場の力が競争力の源泉になることは今後も変わりません。問題は、その現場力がどこで生きるかです。銀塩フィルムがなくなるのに、銀塩フィルムをいくら磨いたってだめです。圧倒的な現場力がどこで生きるかと考えた時、よりややこしい、より人の命に関わって高度な作りこみや安全性が求められる医療にシフトしたのです。

どのフィールドを選ぶか決めるのは経営者です。つつい今までやってきたことを続けてやりたくなくなります。例えば、日本の電機メーカーの経営者はテレビにこだわって失敗しました。この見極め、切り替えが大事です。

しかし、全然違うところに行くのではありません。自分たちが持っている本当の強さはどこに活かせるかを考えるのです。野球はサッカーに席巻されそうだからといってサッカーに向いていない人がサッカーをしてもうまくいきません。野球で培った組織の能力や強みを野球以外のどこで活かせるかを探すことです。

日本が得意なものづくりやハードウェア的な世界、あるいはきっちりものを納めるという世界、その能力に対する要求は今後も絶対には変わりません。

今、デジタルもだんだんホットな分野はリアルな世界に移ってきています。自動運転や遠隔医療などがそうです。これらは人命に関わっていて失敗が許されません。そこで日本企業が培ってきたしっかりと物事を突き詰めてやりきる能力、信頼を勝ち取る能力がまた評価されているのです。

世界には色々な変化が起きていますが、今、日本の企業には風が吹いております。ただ、新しい風をつかめるかどうかはリーダー次第です。

そのためにも意思決定が大事です。個々の企業がコーポレートトランスフォーメーションをすることです。その積分値が国を変えていきます。

皆さんの更なるイノベーションとご発展をお祈りしております。ご清聴ありがとうございました。

◇謝辞 藤井圓隆ガバナー補佐
富山先生、ありがとうございました。我々も今日のお言葉を金言として頑張って活動して参ります。

□義援金贈呈

能登半島地震への義援金100万円の目録が藤井ガバナー補佐より酒井ガバナーへ贈呈されました。



□次年度西名古屋分区ガバナー補佐ならびに次年度IMのホストクラブの紹介

次年度西名古屋分区ガバナー補佐 藤田守彦さん



今年7月よりガバナー補佐を拝命します。宜しくお願いします。8月21日から14クラブへの訪問が始まります。その際には是非ロータリーのファイヤー・サイド・ミーティングのような形で皆さんと懇談したいと思っておりますので宜しくお願いします。私は気楽にお邪魔したいと思っておりますので、皆さんも気楽に迎えて頂ければと思います。7月から宜しくお願いします。

次年度ホストクラブ 名古屋丸の内RC



会長エレクト 加藤 豊さん
次年度IMは令和7年2月20日(休)、名古屋観光ホテルにて行います。藤田がすっかりやる気になっており、張り切っておりますので、私ども丸の内RCの一同も一生懸命藤田を支えて参りたいと思っております。是非お誘い合わせの上ご来場下さい。

また、私ども丸の内RCは令和7年3月13日(休)に30周年記念式典を行いたいと考えておりますので、是非ご参加の程宜しくお願いします。

□謝辞

両角國男会長



酒井法丈ガバナーをはじめ、特別出席者の皆様、ご臨席賜り誠にありがとうございます。また、今日は709名の方のご登録を頂き、西名古屋分区の約半数のクラブが全員登録をして頂きました。会場いっばいに多数の方にご参加頂き、心より御礼申し上げます。

今回藤井圓隆ガバナー補佐が掲げた「グローバルズは世界に何をもたらしたか」というテーマの発想のもとには、名古屋名駅RCの創立以来のテーマである「名駅から世界へ」がございます。その延長線上で藤井ガバナー補佐がお考えになられた目標に向かい、菅垣実行委員長を先頭に全会員1つに心を合わせて準備をして参りました。今年度の名駅RCの方針は「目標に向かって行動するロータリアンを目指そう」です。その一番大きな目標として本日IMを開催することができました。

皆様方の益々の健康とご発展を心から祈念し、謝辞とさせていただきます。ありがとうございました。

□点鐘

藤井圓隆ガバナー補佐

第2部 懇親会

◇司会

大勝浩二さん
フリーアナウンサー
(名古屋みなとRC)
橋本美穂さん



◇歓迎のことは

菅垣 建 IM実行委員長



皆さん、式典お疲れ様でした。
IMは研修を目的とする式典と懇親を目的とする懇親会が一体となっています。両方で本当の意味のIMだと思います。

今日はアトラクションとしてOSK日本歌劇団の皆さんに来て頂きました。NHKの朝ドラは皆さん見えていますか？私は最近見始めました。戦後を明るくした革新的スターの笠置シズ子さんがモデルになっています。今日は代表曲「東京ブギウギ」も歌って頂きます。心ゆくまで懇親会をお楽しみ下さい。

◇乾杯

片山主水パストガバナー

IMというのは、昔、私が責任者の時、地区大会と同じように分区だけで大会をやろうと8人のガバナー補佐に言いました。それによって、先程のガバナーの波紋の話のように、分区が強くなり地区が強くなると思っていた訳です。



それでは、皆様のご健康とロータリーの発展を祈りまして乾杯します。カンパニー！

◇食事・歓談



◇アトラクション OSK日本歌劇団

1922年に誕生し、創立102年目を迎えたOSK日本歌劇団。朝ドラ「ブギウギ」に登場した梅丸少女歌劇団のモデルとなっており、OSK日本歌劇団からも劇団員役として30名程が出演されました。

今回は6名のメンバーにお越し頂き、笠置シズ子さんの「東京ブギウギ」など、華やかな歌とダンスによる華麗なステージを披露して頂きました。



◇御礼のことは

盛田兼由副会長



本日は長時間にわたりありがとうございました。前半は富山先生による「日本経済再興」という講演でした。日本にとって明るい未来の展望に向けたヒントになるお話がお伺いできたと思います。後半はOSK日本歌劇団に素晴らしい歌と踊りを披露して頂きました。皆さん、お楽しみ頂けたと思いますがいかがでしょうか？(拍手)

これも藤井ガバナー補佐、菅垣実行委員長、名駅RCのメンバー、そして名古屋宮の杜RCの皆さんにも協力して頂き、一生懸命準備したものです。

本日は色々行き届かない点もあったと思いますが、ロータリーの友愛の精神でお話し頂ければと思います。本日は本当にありがとうございました。

◇手に手つないで

小室健次郎ソングリーダー



開会前の集合写真